

# 飛騨びと言の葉綴り

HIDA CITY 20TH  
ANNIVERSARY



飛騨市制20周年を記念して今年4月より新連載がスタート！  
市制20周年を契機に、今を生きる飛騨市民とその人が持っている  
「ぬくとい人情味」を記録・記憶として遺す「飛騨びと～言の葉綴り～」を連載中。

ライターは作家で飛騨市観光プロモーション大使も務めるオカダミ  
ノルさん、イラストレーターは「のみながらにがおえ」でお馴染みの  
波岡孝治さんが担当！

## 古川町～量り売り専門店！おかずや山本 「庶民の腹を満たして半世紀～現役80歳の看板おばちゃん！」

「家は量り売り専門のおかずややさ」。看板おばちゃんこと、山本久  
恵さん80歳だ。

昭和18年に高山市で誕生。「8歳の時、母が出てってまって」。両親  
が離婚。4年後、今度は父が他界。「兄と私の二人暮らし。ご飯も私  
がやわわなかなんで。でも苦にはならんだ。根が料理好きやったで」。

中学卒業後、高山市の食堂に住み込み勤務。その後叔母の誘いで、神  
岡鉱山職員寮の賄いを担当。そして食品スーパーの総菜コーナーへと  
転職。

28歳の年。家を出て行った母から縁談話が。「再婚相手の親戚が、今  
の旦那なんやさ。旦那の実家の保地区は、ダム湖に沈んでまうで、古  
川へ移る予定やった。いきなり姑さんが『息子の嫁に来て欲しい』っ  
て言われるんやさ。私もその姑さんを直ぐに気に入ってまって。何で  
かってか？幼い頃に母と別れて、常識を教えてもらえなんだ。だから  
姑さんに学ぼうと。旦那はどうでもえがった。もちろんこの店やらせ  
て貰う条件付きで」。

昭和45(1970)年10月、念願が叶い「おかずや山本」が誕生。「姑さん  
がござったで、子守りもご飯もやわってくれはったし、その分私は店  
一筋」。ぜんまいやタケノコに里芋の煮物等、大鍋が居並ぶ。「一番  
人気は、揚げたてのから揚げ！」。

開店当初から54年、今も客足が絶えることはない。

「ここまでやって来れたのは、お客さんが私を育ててくれたでやさ。  
それともう一つは、大工一筋だった旦那が、何一つ口も挟まんと、私  
の好きなようにやらせてくれたからやるなあ。だからもうちょっと、  
お客さんのお腹と心が、満たしてもらえよう頑張らにゃあ」。

おばちゃんは照れ臭いだ。

85歳まで現役が目標。看板おばちゃんは、今日も店先に立つ。



やまもと ひさえ  
古川町 山本 久恵さん



市ホームページでは、フルバージョンや  
これまでの連載もご覧いただけます。

